

こずかた

No.151

令和5年3月15日発行
盛岡市教育研究所
☎019-651-4111 (内7371)
印刷/セーコー印刷 651-3606

勇気を育てる

盛岡市中学校長会会長

石川

健



書名が刺激的だ。「先生、どうか皆の前でほめないで下さい」の著者・金間大介氏（金沢大学教授）は、今の若者を「先頭に立ちたがらず競争が嫌い。他人の感情を怖がり、空気に従おうとする」と分析する。この指摘に多くの人が共感しており、そこには私も含まれる。無論、同情の余地はある。ハラスメント流行りのご時世、大企業のCMからお笑い芸人のネタまで、何ハラかに抵触していないかの安全確認は必須となった。目立ちたがりが度の過ぎた動画

でもアップしようものなら、過去が暴露され、自宅や家族もさらされ、虚偽まで書き込まれるような今日、表現行為は危険が隣り合わせと知れば、リスク回避に流れる気持ちも解らなくはない。

インターネットの最強事典と称されるウィキペディアは、カニガム法の法則で運営されている。「ネット上で正しい答えを得る最良の方法は、質問することではなく、間違った答えを書くことだ」との理念から、不分なままでも項を書き起こすことをよしとしている。後読者には加除訂正の自由があり、時間と共に精度と内容の向上が図られていく。間違いかも価値を創出する姿勢こそ、グローバルスタンダードだろう。

私達は何を見誤ったのか。経済成長と共に国際感覚を磨いてきたはずなのに。ダイバーシ

ティを標榜すべく文化の多様性を説き続けてきたというのに。人は過ちを犯すものであり、それを通じて育つ生き物である。一步を踏み出さなければ、何も始まらず生み出せず得られもしない。不味い物を食べるから美味が判るように、痛みを

知ってこそ人は成熟していく。だからこそ、過ちを恐れぬ勇氣ある次世代を育てなければならぬ。先を生きる者として、やるべきことがある。それは、多様性を語る以上に寛容性を教えることだ。

こずかた写真館 ⑤

いきいきスクール

二月三日、15人が参加した今年度最後のいきいきスクール。午前中、子ども科学館でステンドグラス、シルブクリや、プラネタリウムを楽しんだ後、午後の遺跡の学び館では、みんなで楽しく「勾玉づくり」を体験しました。黙々と石を磨く作業に、集中して取り組み、オリジナルの勾玉を完成させました。

